

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【泰平小学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	【学習上の課題】基礎的・基本的な知識の定着に課題が見られる。【指導上の課題】繰り返し学習による基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る時間の確保。 【学習上の課題】自己の学習を調整したり、自身の課題を把握したりすることができていない。【指導上の課題】視点やめあてをもたせ、学びを振り返る時間の確保ができていない。	空いている時間に「学習ソフト」やドリル等の繰り返し学習に取り組む。【隙間時間の活用】 何ができたのか、どうしてできたのかなど、児童が自らの学びを振り返ることができるようにする。【毎時間】 児童自ら学習計画を立てる時間を設定する。【学年の実態や単元に応じ実施】
思考・判断・表現	【学習上の課題】問題をじっくりと読み、資料から情報を取り取ることにより課題が見られる。【指導上の課題】意図的に思考力を高められるような発問をする機会が少ない。【学習上の課題】自分の考えを表現できる児童が少ない。【指導上の課題】わかる、できる喜びを味わえるような、児童主体の授業展開が少ない。	自分の考えを主体的に発表する機会を意図的に増やしていく。【毎時間】 学校課題研修との関連を図りながら授業改善を図るとともに、自ら課題を設定し解決するなどの探求的な学びを充実させていく。【市学子質問・「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」の問いに対して、肯定的な回答9割以上】

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	児童生徒の 学力の向上
思考・判断・表現	結果提供(2月)	

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	調査の振り返り(4月)
思考・判断・表現	結果提供(7月)	調査結果分析(7~8月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し	
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	分析共有(児童生徒の実態把握) 児童主体の振り返り	中間評価(9月)	目標・策の見直し
思考・判断・表現	中間評価(9月)	目標・策の見直し	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)